

< 報道資料 >

2010年2月17日

セントケア・ホールディング株式会社
メディカル・データ・ビジョン株式会社

ICT 活用による訪問看護診断の業務作業を効率化

～ コンティニュー規格対応のパソコンを導入 ～

セントケア・ホールディング株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:村上 美晴、以下セントケア)とメディカル・データ・ビジョン(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:岩崎 博之、以下MDV)は訪問看護業務における看護診断の標準化と質の向上、さらに作業効率化を推進するために訪問看護 ASP システム「看護のアイちゃん」を開発し、さらにコンティニュー規格に対応し、ヘルスケア市場特有のニーズに応えるパナソニック社製 タフブック CF-H1 と連動した形で、コンティニュー規格に対応した血圧計、体重計等からの健康データの取り込み機能を「看護のアイちゃん」に追加しました。これにより、訪問看護業務における健康データ記録時のミスをなくし、作業効率化をさらに高めます。

在宅ケアの対象者は、高齢化の進展に伴い慢性疾患を患う事例が増加し、医療を必要とするケースが急速に高まってきました。この在宅医療においては、医療から生活サービスや介護までのコーディネイターともなる訪問看護の必要性が大幅に増加してきています。

しかし、在宅ケアでは、訪問看護師に高度な医療判断が求められる一方、医師などのスタッフが同席せず高度な医療機器も持ち込めない環境となっています。さらに、昨今では対象患者への看護サービスに加えて、対象患者の家族に対する生活面の評価支援や情報提供などが求められ、医療サービスから介護サービスまでのハブ機能を合わせ持つことが訪問看護師に要求されてきています。

このような環境のなか訪問看護師のアセスメントの範囲と作業が増大してきていることに対処するため、セントケアでは名古屋大学医学部基礎看護学 教授 山内豊明氏の指導の下、在宅ケアの環境に適応したアセスメント手法を開発しました。このアセスメントの特徴は、職人芸になりがちな診断を標準的かつ客観的にできるようにしたものです。この手法は、看護師の診断の思考過程にそった形で問題領域の絞込みができるようにするもので、新人でもベテランの看護師に準ずる診断を実現することができます。

セントケアとMDV ではそのアセスメントを基盤とした支援サービスシステム「看護のアイちゃん」を開発しました。「看護のアイちゃん」は、従来のアセスメントと異なり、アセスメントを進めることにより課題領

域が絞り込まれる形式をとっています。このことは、データなどを単に記録するのではなく、その入力自体で新人の看護師にとってもベテラン看護師の思考過程をトレースできる画期的なものです。

さらに、「看護のアイちゃん」は SaaS サービスとして提供することによりリアルタイム性を向上させ、いつでもどこでも情報確認およびデータ入力を行なうことができます。これまでは、在宅ケア対象者の情報入力はステーションにて行うため、それによる PC 待ちが発生し作業効率促進の妨げとなり改善が急務となっていました。ここに、タブブック CF-H1 を導入することにより作業効率についても大幅に向上させることが可能となりました。また、この「看護のアイちゃん」をコンティニュー対応とすることで、体重計や血圧計で測定された健康データを訪問看護先で自動入力できるようにしました。このことからデータの転記作業自体をなくし、効率化と転記ミスの排除にも機能性が増すこととなります。(

「看護のアイちゃん」が最初に導入されたのは、セントケアの訪問看護ステーション三鷹です。モバイル PC 選択ではモバイル・タブレット・耐久の3つの視点から検討し、コンティニュー規格に対応し、インテル社がプラットフォーム設計した MCA に準拠したパナソニック社製 ヘルスケア向けタブレット型モバイル PC の タブブック CF-H1 を選択しました。

- 1) モバイル性 WiFi Bluetooth FOMA HIGH-SPEED 対応
- 2) タブレット 指でもペンでも入力可能なデュアルタッチ対応
- 3) 耐久性 一体設計による耐衝撃設計、ファンレス構造による防塵・防滴性能

<コンティニュー対応システム導入の有効性>

1)情報の共有化

過去の記録を履歴管理しており、訪問中に過去の訪問記録を辿ることが容易であり、且つ、ASP 下でステーション(もしくは外出先)に待機しているスーパーバイザー看護師とリアルタイムで情報を共有できることにより、安心してサービス提供ができます。また情報の共有が即座に行い得ることにより、担当の医師への報告などもスムーズに行えます。

2)安全性

コンティニュー規格対応の体重計や血圧計などを利用することで、健康データ入力が自動化され、同規格対応のタブブック CF-H1 を通じて「看護のアイちゃん」への状況共有が即座にできることとなりました。その結果、メモ書きからの転記ミスを解消できることとなります。

3)業務の効率化

モバイル対応タブブック CF-H1を導入することにより、これまでステーションに戻らないと入力出来なかった作業を、訪問先で完了できるため、大幅な時間短縮が可能となりました。訪問時間の合間を縫って自分の時間で入力出来、ステーションでのPC待ちも解消することができました。これにより、看護師の事務業務に対するストレスも解消でき、訪問後に入力していた頃より、帰社後の入力時間は半分以上に短縮されることができました。

4)利便性

タブブックCF-H1は、画面タッチおよび記入式にて入力が可能であり、画面をタッチすることで簡

単に「看護のアイちゃん」への情報入力が行なえるようになり、現場運用がより簡易になりました。パソコン操作が苦手な看護師でもノートに記録するような感覚で行えるため、大変便利であるとの評価を得ています。

5) 耐久性

訪問看護では、移動に自動車や自転車、公共の交通機関を使用したりします。耐久性に優れたタブブックCF-H1は、どの移動手段を使用しても安心して運ぶことができ、自転車の振動にも耐えました。

上記結果から、訪問看護業務をシステム化することにより一元化された情報の蓄積および活用とそれによる訪問看護サービスの質の向上、さらにモバイル化することにより作業効率化が検証されました。さらには訪問看護師だけにとどまらず介護スタッフ、医師等との情報連携も実現でき、サービスを受ける方々に還元することができると考えております。

セントケアとMDVでは、SaaSサービス「看護のアイちゃん」とタブブックCF-H1をセットにして、他の医療機関や民間の訪問看護ステーションに広く提供する計画です。また、セントケアでは、訪問看護ステーション三鷹における高い評価を鑑み、自社の全訪問看護ステーション(28ステーション)にコンティニュー規格に対応したSaaSサービス「看護のアイちゃん」、パナソニック社製タブブックCF-H1を逐次、導入していく予定です。



【タブブック CF-H1】



【看護のアイちゃん(キャラクター)】

<セントケア・ホールディングについて>

会社名： セントケア・ホールディング株式会社
(英名 SAINT-CARE HOLDING CORPORATION)
所在地： 本社 〒104-0031 東京都中央区京橋 2-8-7 読売中公ビル 5F
TEL03-3538-2943 FAX03-3538-2947
代表： 代表取締役会長兼社長 村上美晴
設立： 昭和 58 年 3 月 24 日
資本金： 1,009,839,004 円(平成 21 年 9 月 30 日現在)
事業内容： 介護サービス全般
連結子会社数 27 社(平成 21 年 9 月 30 日現在)
拠点数 356 ヶ所
従業員数： 正社員 1,401 名 契約社員 5,398 名(グループ 28 社)

<メディカル・データ・ビジョンについて>

会社名： メディカル・データ・ビジョン株式会社
(英名 Medical Data Vision Co.,Ltd.)
所在地： 〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町1丁目4番1号
TEL03-5298-0011 FAX03-5298-5311
代表： 代表取締役 岩崎博之
設立： 平成15年8月20日
資本金： 245,800,000 円
事業内容： 1. 医療情報システム開発、製作、販売、保守業務
2. 各種医療データの分析、調査、コンサルティング業務
3. 医療機関経営コンサルティング業務
4. 人材紹介事業
従業員数： 53 名(2009 年 4 月 1 日現在)

【お問合せ先】

セントケア・ホールディング株式会社

執行役員・訪問看護事業部長&事業推進部長 岡本 茂雄

電話:03-3538-2943

E-mail:okamoto@saint-care.com

以上